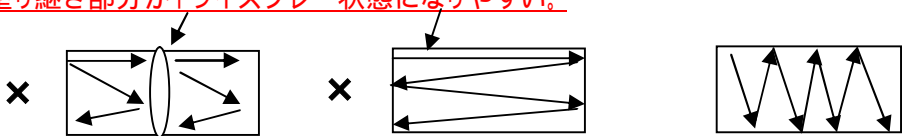


黒板塗料 Q & A

	質問事項	回答例						
1	黒板塗料は、どのような塗料ですか。	塗装することによって、簡単に黒板を作ったり、再生したり出来ます。チョークの書き消えを重点に、調整した特殊塗料です。						
2	黒板塗料にはどんな種類がありますか。	<p>弊社の黒板塗料の系統は、3種類に分けられます。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">塗板液(とばんえき)</td> <td style="width: 50%;">弱溶剤型1液タイプ</td> </tr> <tr> <td>エアレス用硬質黒板塗料</td> <td>強溶剤型1液タイプ</td> </tr> <tr> <td>トバンゾール(エアゾールタイプ)</td> <td>強溶剤型1液タイプ</td> </tr> </table> <p>全て、溶剤型のアルキド樹脂(フタル酸樹脂)を展色剤として使用し、環境対応のため、現在では全て無鉛タイプになっています。</p> <p>エアレス用硬質黒板塗料は、F 　　　　　　です。</p>	塗板液(とばんえき)	弱溶剤型1液タイプ	エアレス用硬質黒板塗料	強溶剤型1液タイプ	トバンゾール(エアゾールタイプ)	強溶剤型1液タイプ
塗板液(とばんえき)	弱溶剤型1液タイプ							
エアレス用硬質黒板塗料	強溶剤型1液タイプ							
トバンゾール(エアゾールタイプ)	強溶剤型1液タイプ							
3	どのようなものに塗装出来ますか。	<p>木部(一般には、シナベニヤが使用されます。吸い込みがなく平滑な面のため下地調整がほとんど要りません。)、</p> <p>鉄部(一般には、塗装用ボンデ鋼板が使用されます。防錆のためプライマーが必要です。)に適しています。</p> <p>古くなった黒板の塗替え。</p>						
4	どのようなものに塗装出来ませんか。	<p>アルキド樹脂(フタル酸樹脂)を使用していますので、耐アルカリ性が悪く、セメント系、無機質系(壁面に使用されている部材等)の素地には塗装出来ません。</p> <p>又、柔軟性の有る素地にも適しません。(柔軟性の有る素地には付着しないと考えたほうが良いです。)</p> <p>黒板塗料の塗膜は硬くなるように設計していますので、付着する素地でも、塗装後、折り曲げたりしますと、割れが発生し剥離します。</p> <p>ホーロー黒板には使用できません。</p>						
5	塗装するにはどのような塗装用具を使用しますか。	<p>エアレススプレー、又はエアスプレーが適しています。</p> <p>チップ口径はエアレススプレー(フリーパターンチップの028かアサヒサナックの09C09シリーズであれば塗装可能です。アネストイワタであれば2004~2005当たりです。チップ口径0.32mm、パターン幅200~250mm程度のチップを使用のこと)、又はエアスプレー(口径は1.3~1.5mmで塗装可能ですが、被塗物の大きさとパターン幅に応じて選んでください。)が適しています。</p> <p>刷毛の塗装は、刷毛目が残り易く広い面積の塗装には不向きです。又、色ムラも起き易くなります。</p> <p>ローラー塗装は、ローラーパターンの凹凸が黒板面に残りチョーク残りが激しく</p>						

		<p>て不向きです。</p> <p>黒板塗料は、平滑に塗装することで微細な適度の凹凸が出来るように設計していますので、それ以上の凹凸が表面に残ればチョークの粉が凹凸面に入り込み、黒板消しで拭き取れなくなります。</p>
6	<p>きれいな黒板面をつくるため、塗装時のコツはどのような事に気をつければ良いのですか。</p>	<p>吹き付け塗装時の注意点は、塗り継ぎ部分がドライスプレー状態(吹き付けした塗料が半分乾燥した状態で重ね塗りが行なわれ、砂状のぶつぶつが表面に残る状態)にならない様に、塗継部分の溶剤が揮発しない内に、連続的に塗装する必要があります。</p> <p>塗装した面が、レベリングが良くでき、数分間濡れた状態に保たれた後に、艶が均一にひけていく状態がベストです。</p> <p>塗装時の膜厚も、出来るだけ均一になる様にスプレーする必要があります。(トバンゾールも同じです。)</p> <p>大きな面積を塗装する場合は、試験塗装を行い、コツをつかんだ後に塗装して下さい。</p> <p>塗装面の途中でガンを止めないようにして下さい。</p> <p>塗り継ぎ部分がドライスプレー状態になりやすい。</p> 
7	<p>きれいな黒板面をつくるため、塗装前の素地調整はどのようにしたら良いのですか。</p>	<p>新設の場合</p> <p>平滑で素地調整のできるだけ不必要な素材を選択して下さい。</p> <p>木部は、シナベニヤ(裏面に合板等を貼り付けてください。)を、鉄部はボンデ鋼板をお勧めします。</p> <p>素地調整が必要な場合、傷、凹み、隙間等はエポパテ(2液型)で埋めます。埋め戻した部分をP320程度のペーパーで研ぎ平滑にしてください。</p> <p>市販のポリパテは、塗料が付着しませんので使用しないで下さい。使用した部分は、後から剥離が発生します。</p> <p>(詳細はカタログをご参照下さい。)</p>
8	<p>屋外でスコアボード等に使用したいのですが。</p>	<p>黒板塗料は屋内用に設計されています。屋外に常時設置する場合は、太陽光線や雨により、表面状態の劣化が早くなります。出来るだけ日陰で雨の当たらない条件での使用をお勧めします。塗料の劣化が進めば早めにトバンゾール(エアゾールタイプ)等で塗替えて下さい。</p>
9	<p>磁石の付く黒板が欲しいのですが。</p>	<p>黒板塗料だけで磁石がつくようには出来ません。</p> <p>素材の検討で解決できます。</p> <p>磁石の付く鋼板を使用すると磁石が付きます。</p> <p>長持ちさせる為には、防錆プライマーが必要になります。</p>

		弊社のサビタイト(2液型エポキシ樹脂塗料)、又は、黒板用プライマー(1液型アルキド樹脂塗料)をお勧めします。
10	黒板面に白線や文字を書き入れたいのですが。	黒板面に白線や文字を書く場合は、樹脂組成が同系統の塗料を用います。弊社での商品名は、ダイレックス#1500が適しています。白線や文字書きは24時間以上乾燥させ、養生テープで養生後、塗料用シンナーで希釈して、はけ、スプレーで塗装します。 強い溶剤系の塗料やラッカー等は、黒板塗料に悪い影響をあたえますので使用しないで下さい。
11	塗装完了後どのくらいから使用可能ですか。	塗装完了後、すぐに艶が引けて、一見乾燥した状態になります。しかし、塗膜の乾燥は、溶剤が揮発した後に、少しずつ進行します。そのため塗膜が完全に乾燥し、硬度が発現するには塗板液で7日間(23℃)、エアレス用硬質黒板塗料及びエアゾールで4日間(23℃)の期間が必要です。
12	チョークの種類はどのようなタイプが適していますか。	黒板塗料を塗装した面には、軟らかい焼きせっこう(硫酸カルシウム)系のチョークを使用して下さい。 チョーク粉の取れ方にも差があり、焼きせっこう系のチョークが拭き取れやすいです。 チョークの種類は大きくわけて炭酸カルシウム系の手に持つと重い感じのするタイプと、焼きせっこう系の手に持つと軽い感じのするタイプに区別出来ます。 チョークの硬さは、炭酸カルシウム系は硬く、焼きせっこう系は軟らかいです。